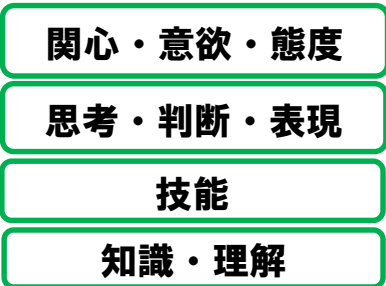


学習評価について(高等学校地理歴史科)

観点別学習状況の評価の観点の整理

資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されました。

<現行>



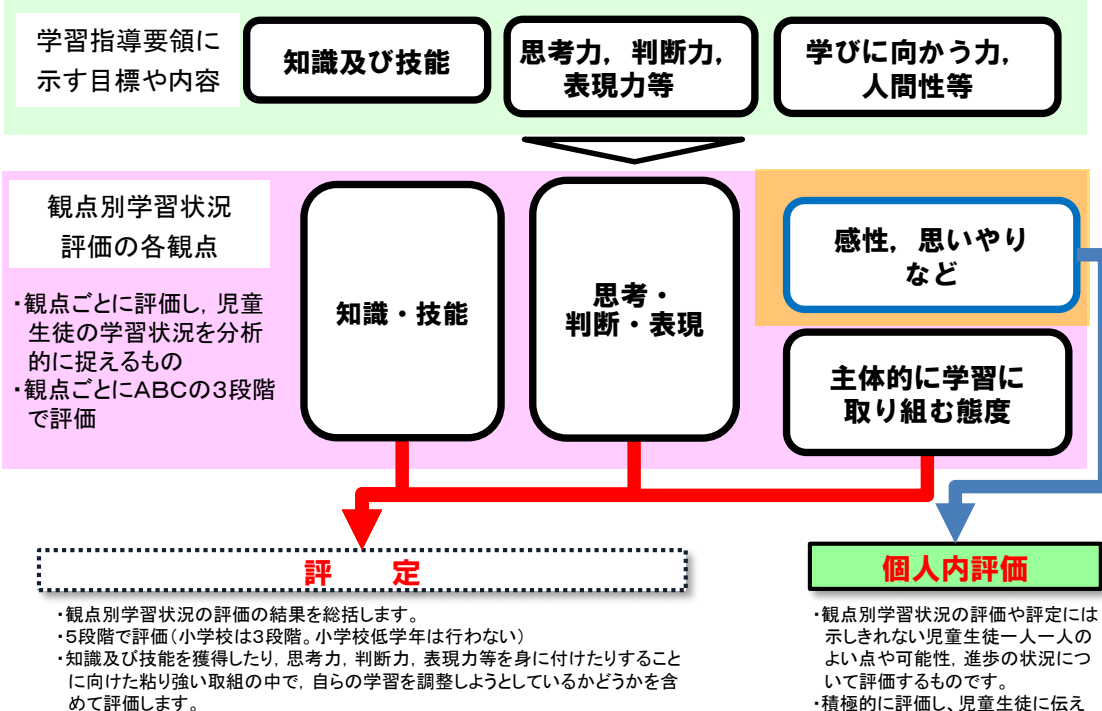
<新>



現行の4観点で評価していた指導事項が、全て3観点に再整理されました。

学習評価の基本構造

各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況の評価するものです。(目標準拠評価)したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なります。



評価の進め方について

1. 教科の目標を踏まえた「評価の観点と趣旨」を確認する

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

2. 科目の目標を踏まえた「評価の観点と趣旨」を確認する<歴史総合の場合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを利用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3. 「内容のまとめりとごとの評価規準」を作成する

①「内容のまとめり」(中項目)と「評価の観点」との関係の学習指導要領「2内容」で確認する。

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりとごとの評価規準」を作成する。

【観点ごとのポイント】

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準については、「2内容」の文末を「～している」と表します。
- ・「2内容」では、「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項が示されていないため、「主体的に学習に取り組む態度」については、各科目の目標を踏まえた「評価の観点と趣旨」(上記)を基に評価規準を設定します。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」について、地理歴史科では「よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究(、解決)しようとしている(地理総合、歴史総合)か、「…を主体的に追究(探究)しようとしている(地理探究、日本史探究、世界史探究)」かどうかの学習状況として表します。

4. 「単元の評価規準」、「指導と評価の計画」を作成して評価を実施する(裏面)

【評価の進め方】

①「単元の目標」を作成する

②「単元の評価規準」を作成する

- ・学習指導要領の目標や内容、解説等を踏まえて作成します。なお、「内容のまとめりとごとの評価規準」を基本形として作成します。
- ・生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえて作成します。

③「指導と評価の計画」を作成する

- ・①②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画します。「評価したことを記録に残す」場面(評定に用いる評価)を明確にします。
- ・どのような評価の資料(生徒の反応や作品など)を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりします。

④ 授業を行う

- ・③に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげます。

⑤ 観点ごとに総括する

- ・集まった評価資料やそれに基づく評価結果(評定に用いる評価)などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行います。

指導と評価の計画(事例)

- 単元の目標を作成する
- 単元の評価規準を作成する
- 「指導と評価の計画」を作成する
- 授業を行う
- 観点ごとに総括する

地理歴史科 事例6 (歴史総合)

キーワード 「内容のまとまり」を踏まえた指導計画と評価計画

単元名

近代化と私たち

内容のまとまり

B 近代化と私たち

- (1) 近代化への問い (2) 結び付く世界と日本の開国
(3) 国民国家と明治維新 (4) 近代化と現代的な諸課題

1 単元の目標

科目別の「評価の観点と趣旨」(表面)を基に設定しています。

- 近代化の歴史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 近代化の歴史に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
- 近代化の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

主体的に学習に取り組む態度

- 他の観点と比較して、長期の学習の中で育成されるものと考えられます。そのため、内容のまとまり(中項目)を基本として評価場面を設定します。
- 予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習課題を追究・解決しようとしているかという視点で学習状況を捉えます。またよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているかという視点で学習状況を捉えることもできます。(「思考・判断・表現」との関連性を踏まえ)

思考・判断・表現

- 「～変容について考察し、問いを表現している」を評価する場面など、各小単元の学習課題に応じた「見方・考え方」を視野に、評価する場で構成されています。
- 学習指導要領及び解説に示された、「視点の例や、視点を生かした考察や構想に向かう「主題」や「問い」の例などを踏まえ、具体的な「視点」等を組み込んだ評価規準を設定することが重要です。

知識・技能

- 「知識・技能」については、個別の事象などの知識に留まらず、資料から読み取った情報と関連づけて近現代史の意義・特色などを考察することが求められるため、「思考・判断・表現」との関係性を踏まえて評価を行います。
- 「技能」については、「適切かつ効果的な資料の活用とあり、解説の「内容」の解説巻末に「参考資料2」として示された「社会的事象等について調べまとめる技能」等を参考に、評価場面を設定します。適切かつ効果的が表すものは多様であるが、学習のねらいや学習課題を踏まえて、評価基準として具体的に示しておくことが大切です。

<参考>「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
国立教育政策研究所 教育課程研究センター(令和3年8月)

3 指導と評価の計画(28時間)

中項目	小単元	学習活動	評価の観点			評価規準等
			知	思	態	
(1) 近代化への問い	小単元1	【ねらい】交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 【課題】近代化に伴い生活や社会が変化したこと示す資料から、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを問いの形にして表現してみよう				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元2	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●近代化に伴う生活や社会の変容について、資料から情報を読み取ったり、まとめている。 ●近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 ●大項目全体の学習の見通しをもって取り組もうとしている。
	小単元3	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元4	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
(2) 結び付く世界と日本の開国	小単元1	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元2	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元3	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元4	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
(3) 国民国家と明治維新	小単元1	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元2	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元3	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元4	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
(4) 近代化と現代的な諸課題	小単元1	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元2	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元3	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価
	小単元4	【ねらい】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【主題】「18世紀のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の特徴」				●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

- 学習改善につなげる評価
- 評定に用いる評価

単元の導入として行う「問いを表現する」活動は、各単元で「問い」との関係を確認する場面を設けるなど、その後の学習に生かしていくことが大切です。

【中項目の導入：小単元1】
●知識・技能(資料の読み取り)
●思考・判断・表現(考察・表現)
●主体的に学習に取り組む態度

単元全体を見通した問いに対して、学習の見通しをもって学習に取り組もうとしているかを確認します。

【小単元2】
●主体的に学習に取り組む態度

単元を見通した「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想(選択・判断)したりする学習を充実させることが必要です。

【1次～2次】
●技能(資料の読み取り)
●思考・判断・表現(考察・表現)

【3次(小単元のまとめ)】
○知識・技能
○思考・判断・表現

「小単元の学習課題」について考察した結果を表現する際に、資料や既習の知識を活用しつつ「列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容」という概念的な知識が獲得されていることを評価の対象としています。また2次までと同様に「技能」の状況を合わせて評価します。

【小単元6】授業前半の場面
○思考・判断・表現

これまでの学習で獲得した知識を並べることに留まらず、組み合わせたり、傾向を見出したり類型化したりして単元の学習を振り返り、現代的な諸課題との関連を考察し、その結果を表現していることを評価します。

【小単元6】授業後半の場面
○主体的に学習に取り組む態度

小単元1で表現した問いを踏まえ、大項目全体の学習の状況を振り返り、自己の学びを確認したり調整しようしたり、次の学習へのつながりなどについて新たな見通しを立てようとしていることを評価します。